

## 6 生活について

### (1) 生活・健康・安全・連絡などについて

#### ① 登校・下校について

午前8時から8時15分の間に通用門を通ることができるように登校させてください。

通常は、授業終了から35分後までに下校します。また、部活動の下校時刻は季節等によって異なりますのでご承知ください。

なお、自転車、バス等による登下校は原則として認めておりません。また、下校後の再登校や、休業中の登校においても、自転車を利用させないようお願いいたします。

#### ② 欠席・遅刻の連絡 **別紙1**

事情により欠席・遅刻などをする場合は、「欠席・遅刻等の連絡フォーム」を利用して連絡をしてください。もし、電話連絡をされる場合は、午前8時00分から午前8時15分までに、保護者の方で電話連絡をお願いします。

#### ③ 昼食 **【P.9 参照】**

中学校ではスクールランチを実施しています。これは、小学校の給食とは異なり、学校のランチ（2種類から選べます）を利用しても、家庭から弁当を持ってきてもよいというシステムです。別紙のプリントをよくご覧になり、ぜひご利用ください。

#### ④ 家庭と学校との連携

保護者会・学校開放週間・PTAの行事・学校行事（音楽会や体育大会など）にはできる限りの出席をお願いします。お子様の学校生活をご覧ください。

また、お子様の体や心の状況や地域の様子で気になることがありましたら、学校へご相談ください。（事故や不審者についての情報は、時刻・場所等をより詳しくお知らせください。）

#### ⑤ 心の教室

教育相談の専門家であるスクールカウンセラー（臨床心理士）が、生徒や保護者の悩みや相談などをうかがいます。

#### ⑥ 緊急時について **別紙2**

保護者の方に学校に来ていただいて、お子様をお引き渡しする場合があります。ご案内する緊急情報メール配信システム「なごやっ子あんしんメール（きずなネット）」にご登録をお願いいたします。（すでに登録していただけます。**別紙34**）

#### ⑦ 外線電話対応・来校者対応について **別紙5**

対応を行う時間を原則 8時～18時としています。それ以外の時間帯は自動音声による応答メッセージが流れますが録音機能はありません。それ以外の時間帯は「欠席・遅刻等連絡フォーム」をご活用ください。

### (2) 生徒心得

#### ① 生活 「規律正しく礼儀正しい生活をしよう」

- ・ 午前8時15分までに登校するようにし、午前8時30分出欠確認、朝の活動（短学活）が始められるようにする（8時30分教室不在だと遅刻）。
- ・ 学校に不要なものを持ってこない。
- ・ 登校したら先生の許可なく校外に出ない。
- ・ 着替えなどの必要なとき以外、許可なく他のクラスに出入りしない。
- ・ 昼食時間の20分間は昼食場所で過ごす。
- ・ 部活動等のない生徒は、下校時刻（授業終了から35分後）までに下校する。

② 学習 「進んで学習に取り組もう」

- ・ 持ち物の準備は前日にし、忘れ物をしないようにする。
- ・ チャイム1分前着席を心掛け、用具を机の上に準備して担当の先生を待つ。
- ・ 教室移動は放課中に速やかに行う。
- ・ 学習用具は指示のあるもの以外は学校に置いていかない。

③ 健康・安全 「心身の健康に気を付けよう」

- ・ 心身の健康には常に気を付け、異常がある場合は速やかに担任の先生に連絡をする。事故、けが、不審者の侵入等、緊急時には各階のインターホンを利用する。
- ・ 通院による早退や体育の見学等、連絡が必要な場合には生徒手帳の連絡欄を活用して連絡する。
- ・ 登下校には通学路を通り、交通のルールやマナーを守る。
- ・ 避難経路をよく知っておき、非常事態が発生したときには、先生の指示に従って冷静に行動する。

④ 服装・頭髪・持ち物

ア 服装

- ・ 服装は本校指定のものを正しく着用し、常に清潔を心掛ける。  
**制服の衣替え期間はありません。**  
**通年で夏服・冬服のどちらでもよい。**  
※学校が示す日（入学式、卒業式、始業式など）は、夏服か冬服を提示する。
- ・ ジャケット：ブレザー ※ボタン：千種中学校の指定。
- ・ スラックス：ズボン裾は**ダブルでもシングル**でも可。ズボンのタックはなしとする。
- ・ スカート：膝が十分に隠れる長さ。裾を切らない。
- ・ ポロシャツ：指定のポロシャツ ※校章入りの半袖もしくは長袖 ※ポロシャツのみの登校でも良い。
- ・ 肌着：白・黒・灰・紺・茶色無地の肌着を着用。
- ・ ベルト：装飾がない単色無地で黒・紺・灰・茶色を目安とする。
- ・ 靴下：白・黒・灰・紺色のいずれかで、無地またはワンポイントの刺繍等を着用する。  
※くるぶしが完全にかくれること。極端に長すぎるものも不可。
- ・ 靴：紐付きの運動靴を使用する。（雨天時はレインシューズも可）

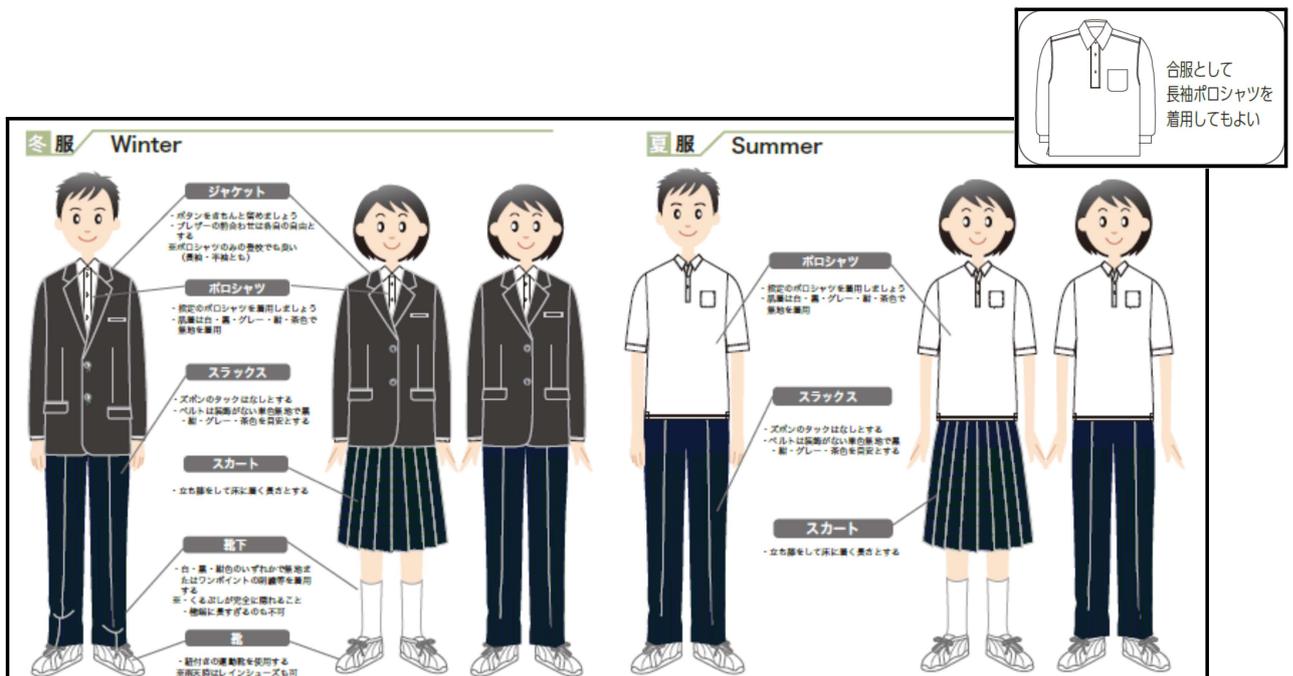
<酷暑期の服装について>

酷暑期（7月～10月末）※期間変更の可能性もあり。

上：制服（夏の制服やポロシャツ）、体操服

下：制服（夏の制服）、体操服のハーフパンツ※組み合わせは自由とする。

別紙6



## <防寒具・防寒着> 男女共通

防寒具：手袋、マフラー、ネックウォーマーを使用してもよい。派手な装飾や危険を招くような使い方をしない。（極端に長いものなど）

防寒着：コートは、黒、紺、グレー色のハーフコートを使用してもよい。  
（コートは、トッパーコート・ピーコート・ダッフルコートとする。）

タイツを使用する場合は、黒またはベージュ色のものとする。

セーター、ベストをジャケットの下に着用してもよい。ただし、華美でないもの（白・黒・紺・灰・茶等）とする。制服からはみ出さないもの。※セーター・ベストのみの登校は認めていません。

※ 防寒具の使用時期は、気候を考慮した上で事前に連絡する。



【トッパーコート】【ピーコート】【ダッフルコート】

## <その他服装について>

- ・ 寒暖調節のため、学校指定のジャージ（上着）を着てもよい。
- ・ 名札は左胸のポケットに正しくつける。
- ・ 授業後や休業日に学校へ来るときも、規定の制服を着用する。
- ・ 健康上の理由などにより、指定以外の服装の着用を必要とする場合は、事前に担任の先生に相談する。
- ・ 体育時は本校指定の半袖体操服、ハーフパンツを着用する。
- ・ 体育館シューズ、上履き（学年色：緑色）は本校指定のものを使用する。

## イ 頭髪 男女共通

- ・ 頭髪は常に清潔にしておく。極端に技巧的な髪型をしない。  
また、染色・脱色・パーマなどの手を加えない。
- ・ 前髪が目にかかるときは、ヘアピン（黒・紺・茶色）でとめる。  
また、肩に髪の毛がかかるときは、ヘアゴム（黒・紺・茶色）で束ねる。

## ウ 持ち物

- ・ 通学用のバッグは、黒色または紺色のリュックタイプをメインバッグとして使用する。本校指定のものはないが、背負える。両手があくものとする。  
※教室のロッカー（およそ横30cm×縦30cm×奥行き40cm）に収まるもの。
- ・ サブバッグとして、手提げバッグや斜めかけのバッグなどの使用はできる。